神前神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当社の創建年代は不詳であるが、備前国神名帳（総社本）に神前神社７、山本氏本に従３位神前明神と記してある旧社である。

中古社号を神崎大明神と称し、御祭神は猿田彦命であったが、明治２年社号を旧号の神前神社に復し、明治９年９月１５日珍彦命を祭神として奉斎した。

神武天皇の御東征の海路を御嚮導された神であるので例祭の相嘗に高島神を祀り、３６台の神饌を献ずる例がある。

明治４４年１２月神饌幣帛料供進神社に指定された。

本神社から南方の海岸に亀石という亀に似た岩があり、珍彦命の乗った亀の化石であると尊崇し、亀石神社と称している。また、付近には神武天皇を祭神とする乙子神社や、神武天皇の三兄を祭神とする安仁神社が鎮座している。

前の写真へ次

基本情報

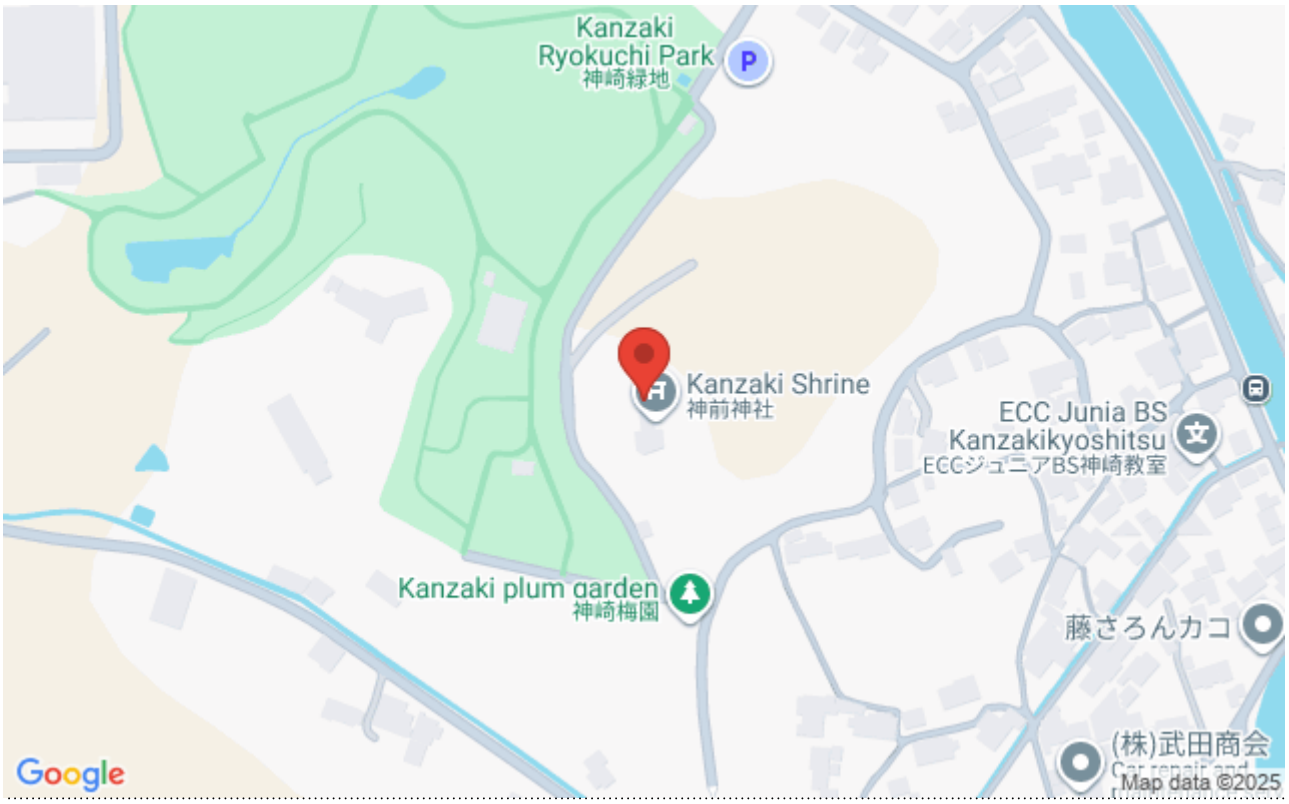
神社コード	08031
神社名	神前神社（カムサキジンジャ）
通称名	神崎大明神
旧社格	村社
鎮座地	〒704-8138 岡山市東区神崎町2466
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有　50台
御祭神	珍彦命
御神徳	導き
主な祭典	５月１８日：春祭 １０月第２日曜日：甘酒祭 １０月第３日曜日：例祭
宮司宅電話	086-942-2674
URL	
e-mail	
特記事項	例祭に３６台の神饌（餅２斗９升２９２個他）を献ずる習わしがある。
氏子地域	岡山市東区（神崎町）
交通アクセス	

ＪＲ赤穂線西大寺駅から南へ４km神崎梅園北

神事一覧

年占い　　祭礼日時：　　文化財指定：　無　　神事詳細

検索画面に戻る



© 2016 Okayamaken Jinjacho